

オーストリア ウィーン

e.motion（乗馬療育センター）

e.motion は精神・身体疾患、病気やがんを患った方、虐待等で心理的困難を抱えた子供たちに対して、馬を介在した活動を提供している非営利活動団体である。馬と人との信頼関係を大切にしており、馬の習性を活かした調教方法を取り入れている。



施設外観

病院の敷地内の静かな環境。スタッフやボランティアが作ったカラフルな看板や案内板があり、暖かいアットホームな雰囲気を感じられる。



セッションの様子①

晴れているときは、乗馬しながら病院内の道路を歩くことも。公園やトレッキング道もあり、様々な年齢層の地域住民が利用している。馬もその環境に慣れており、生活の中に溶け込んでいる。



セッションの様子②

セッションでは軽乗（馬の上で様々なポーズを取る競技）が取り入れられることもある。子どもたちの楽しみや自信の獲得につながる。



飼育している羊たち

馬以外にも羊を飼育。利用者や公園に遊びに来た子供たちがエサをあげることができる。他にもプログラムの中で利用者と一緒に羊の世話をすることも。



引退する馬を送り出すパーティー
高齢になり、違う牧場で過ごすことになった馬をスタッフと利用者・家族が集まって見送るパーティーが盛大に開催されていた。馬と人との親密性が感じられる。



e.motion 代表で理学療法士の Gundula さんとパーティーの主役の馬である Leben と一緒に

また、オーストリアではヒポセラピーは理学療法士が提供し、作業療法士が提供するものは馬を介在した作業療法として行われている。今回、2 か所の作業療法士が提供する馬を介在した作業療法を見学させて頂いた。

Therapiezentrum Donaustadt

主に発達障がいや身体障がいの子供たちを対象に作業療法士が馬を介在した作業療法を提供。1対1のセッションで行われている。



作業療法士の Marie さん
乗馬クラブの敷地と馬を借りて、作業療法を提供。
馬を介在した活動を提供するために、乗馬もしくは軽乗インストラクターの資格をもち、専門の講習を受けている。



作業療法で使う道具①

馬の手入れを一緒に行うときに使用。計画を立てて行動することや順番を記憶することが難しい子供でも視覚的に分かりやすいように作られている。



作業療法で使う道具②

チャックやボタン、ひも結びなど様々な手の細かい動きを練習。馬上で行い、馬のイサを中に隠して、発見する等楽しみながら学習。

Zuckermantelhof

治療的な目的だけではなく教育的視点で主に子供たちを対象に作業療法や乗馬療育を提供。

1対1のセッションの他、グループセッションも行っている。



作業療法士の Katja さんとセラピー馬の Eike



作業療法で使うアセスメント

馬を介在した作業療法専用の評価方法がある。馬を手入れする道具の使用方法など評価項目に従い得点化する。



屋内馬場の様子

乗馬クラブの敷地内で活動しており、広い屋内馬場や放牧地がある。

見学時は4人の子供たちがグループレッスンをしていた。